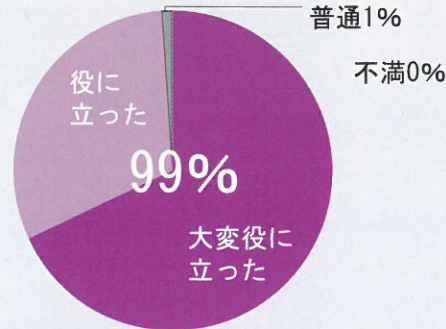


モラルだけでは防げません。「アルコールの基礎知識」と「節酒の方法」が必要です！

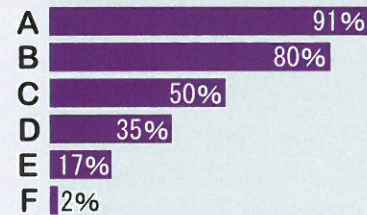
インストラクターに認定された方の99%が、「大変役に立った」「役に立った」と答えています！

- ◆飲むな!!飲むな!!という一方的な指導から、「なぜ」飲むなのかを指導することができるようになった。(トラック)
- ◆交通安全運動における啓発指導や出勤時のアルコール反応者に対する指導、生活習慣についてのアドバイスに役立っている。(バス)
- ◆アルコールの基礎知識で、どういうポイントを押さえればよいのか知ることができた。(刑務所)
- ◆今回の講座を通して新しい知識を得、自分の誤った知識を修正することができた。自分の体質もわかってよかった。(一般企業)
- ◆今まで以上にアルコールに対する知識が増え、乗務員に自信を持って指導できるようになった。(バス)
- ◆アルコールの分解時間の目安と、2単位が体に悪影響を及ぼすことを知らせていきたい。(トラック)
- ◆自分自身の習慣も変えることができたのが一番大きいです。(自動車教習所)

(1) 飲酒運転防止インストラクター養成講座は役に立ちましたか？



(2) どう役に立っているのか教えてください。



- A) アルコールについてさまざまな知識が得られた
- B) 職場での対応や指導に使える
- C) 自分自身の飲酒習慣の見直しになった
- D) 飲酒習慣を変えるための「生活上の工夫」についてヒントが得られている
- E) 実際に飲酒習慣が変わり、仕事や日常生活に良い影響を及ぼしている
- F) その他

《第5期 認定者に対するアンケートより》

職場でやってみたところこんな効果が！

実際に焼酎党のドライバーに、次の日が休みの時に飲む量を計ってもらったところ、意外な数値に驚いた。全員が興味津々でした。2、3単位の飲酒についての体への影響について話した時、「オッ〜」という声が上がった。かなり意識が高まった瞬間だと思いました。(トラック)

確認シートやケーススタディを活用することで、研究会に活気がでて参加意欲があがった。法改正穴埋めクイズは、職業上身近なものに感じられたようで食いつきがよかった。(バス)

「禁酒・節酒できると思っていたが、やってみると案外できるものだ」という感想が多かった。また、アルコールの分解にかかる時間や量の知識があるため、「決めた量だけ購入するようになった」とのこと。「飲まなかった翌日の体の軽さに驚いた」との声もあった。(トラック)

《インストラクター認定までの流れ》

申し込み受付

メールフォーム/
FAX/郵便
3月18日～5月ごろ

ステップ1

飲酒運転防止通信スクールの受講

添削3回
修了目安は3ヵ月
(4月～9月)



アルコールの基礎知識とともに職場で飲酒運転を防止するために必要な対策を身につけます。「飲酒が及ぼす影響」「ドライバーと職場が知っておくべきこと」「飲酒習慣を変える具体的なノウハウ」の3講座から構成され、それぞれ確認テストを提出すると、添削とともに「解答と解説」の資料が返送されます。

ステップ2

地区別
(スクーリング)への参加

1日集中
9月～12月

「研修用DVD」及び
「DVD活用マニュアル」
進呈

各地区でスクーリングを開催します。開催日時と場所は通信スクール修了者へご案内を送付します。ご都合がつかない場合は、他の地区のスクーリングに参加できます。参加型研修の全メニューを体験します。グループでの話し合いやケーススタディ(事例検討)など、すぐに使える内容です。



ステップ3

〈実践報告シート〉の提出

3月31日までに提出

スクーリング後、職場や教育現場、地域などで、DVDを用いた参加型研修を最低1回行なっていただきます。対象や形態、規模は問いません。

認定証発行

ASK認定飲酒運転防止インストラクターに！！